

宮崎県主催「宮崎県防災の日フェア」with 楠並木朝市に出展**～ハザードマップを用いて地震保険の重要性を啓発～**

日本損害保険協会九州・沖縄支部宮崎損保会(会長：柴尾 哲也 三井住友海上火災保険株式会社 宮崎支店長)は、5月17日(日)に宮崎市で「楽しみながら防災の知識や考え方を身につけられる！」をテーマに開催された宮崎県主催の「備えを始めるなら今！ 宮崎県防災の日フェア」に出展しました。

会場となった宮崎県防災庁舎北側広場を含む宮崎県沿岸部では南海トラフ地震などにより津波の被害を受ける可能性が高いことから、津波ハザードマップでご自宅等の場所を確認いただいたうえで、津波による浸水が想定される区域に居住する方に対しては、津波リスクを説明するとともに逃げる方向や避難場所を確認していただきました。また、地震・津波リスクへの経済的な備えとして、地震保険について説明しました。なお、大雨などの水災については、当協会制作の「そんぽデジタル・マイ・タイムライン※」を使用して避難行動を計画していただきました。

参加者からは、「私の住まいだけでなく両親の住まいに津波等がくるか、また、避難所についても確認しておきたい」などと言った声もあり、多くの参加者が自然災害に対する「備え」について真剣に考える機会となりました。

宮崎損保会では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクの啓発活動や、地震や水災等に備える保険の普及活動を行っていきます。



説明の様子



会場の様子



出展したブース



説明に用いたチラシ

※そんぽデジタル・マイ・タイムライン

そんぽデジタル・マイ・タイムラインとは洪水のような進行型災害が発生した際に、いつ、何をするのか、を時系列で整理した個人の防災計画「マイ・タイムライン」をパソコンやタブレットで作成できる Web コンテンツです。https://sonpo-bosai.jp/sonpo_digital_my_timeline